

関東上陸地支局

昭和二十一年二月一日

史実調査参考資料報告

摘要

所属部隊

沖繩縣宮古島

職

中隊附

中尉

終戦時ノモ
ヲ記ス

右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

職ノ変更及
主ナル参加
戦才名ヲ記
ス

支那事変以降
ニ於テル自己ノ
略ノ

昭和十六年二月十日旭川北部第四部隊ニ入隊
同年三月三日羅津上陸 同月五日東安省密山
縣步兵第八十九聯隊ニ轉属
昭和十七年十二月一日少尉任官(中隊附)昭和十九年
二月二三日命大隊副官 昭和十九年六月二十四日独立
連射砲二六中隊編成小隊長命セラル八月ノ終戦宮古島警備

所属部隊
編成年月日及
編制裝備
概要

編成 昭和十九年六月二十四日
編制裝備 47 耗連射砲八門
94式六輪自動貨車一八輛
四小隊編制
人員一四五名

所属部隊
戦終過ノ概要

昭和十九年八月二二日宮古島上陸步兵第
三聯隊ニ配属宮古島南地区ニ於テ陣地
構築等ニ参加 備ニ任ズ南西空襲戦斗参加
天孫作戦ニ於テ集團命令ニ基キ對空戦
闘ニ参加

最後ノ所属
部隊ヲ至三
尚ソ以前ノ
所属部隊ノ
分ヲモ概記
ス

終戦(又ハ主力
戦斗終了)
後ノ概況

帰還船一ツイヤムゲイブル(米船)海路平陽
終戦後宮古島南地区(下地村)ニ在リテ
現地自活作業ニ重点ヲ指向シ作業中
戦中ニ感染染病マラリヤ患者榮養失調者
ノ恢復ト鍊成ニ努ム自活作業ハ成績著リ
給養極メテ向上セリ熱地ノ疥癬
熱帯横土腸モ終戦後猖獗シ罹患者多シ

帰還輸
送ノ状況ヲ
モ併記ス

帰郷(又ハ連
絡)先

[Redacted]

其他ノ参考
事項

独立小部隊ニシテ軍医官主計將校編制
要員ナク支障多シ

備考

將校一部宛記載セズ米一復員者史実部ニ送付ス

88

W

